

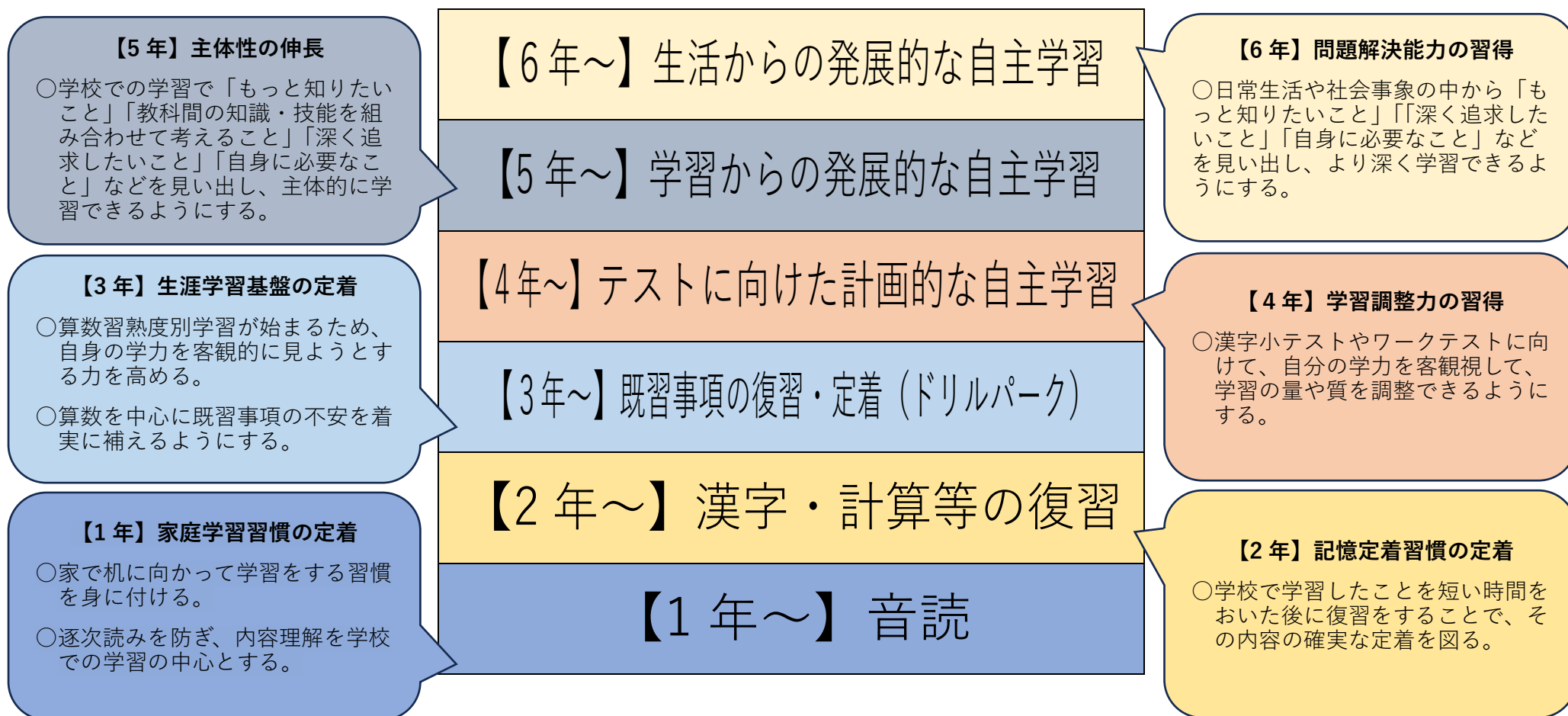
「主体的に学習に取り組む態度の育成を目指した家庭学習」について

昨日の学校 HP 配信をご覧くださった保護者の方より、「家庭学習に関する写真が見えづらく、見やすくしてほしい」とのご意見をいただきました。

つきましては、校内教員研修資料として活用した資料を保護者の方に向けた資料として以下にお知らせいたします。副校長のものの見方となりますので、共感された保護者の皆様は、令和7年9月9日に学校 HP に投稿した学校日記と合わせて参考とさせていただきます。

★ご不明な点、ご質問等ございましたら、担任、学年主任、副校長までお問い合わせください。

1 家庭学習の積み上げイメージ図



2 家庭学習支援（例）

★ 塾などの習い事も含め、10分×学年（3年生なら30分）程度の家庭学習習慣を身に付けさせることが、中学校でのテスト勉強や家庭学習の一層の充実につながると考えます。

★ 下学年の家庭学習内容に10分程度ずつ積み上げていくイメージで考えてみてください。

【1年～】 ○ 国語の学習進度を先取りするように音読に取り組む。 ○ 詩の暗唱や言葉集め（動物の仲間 など）に取り組む。

【2年～】 ○ 漢字ドリル、計算ドリル、教科書の適用問題に取り組む。

【3年～】

- 特に算数にて、スムーズに単元の学習がスタートできるように、ドリルパークで下学年の既習事項に取り組む。
- 保護者（教員）がドリルパークの取組状況を定期的に（可能な限り短い間隔で）価値付け、称賛する。（外発的動機付け）

【4年～】

- 漢字小テスト、ワークテストに向けて、量や質を調整、試行錯誤しながらテスト勉強に取り組む。
- 1日ノート1ページの自主学習を課題として、保護者（教員）が定期的に（可能な限り短い間隔で）価値付け、称賛するとともに、学習の調整の仕方について個に応じた助言をする。（外発的動機付け > 内発的動機付け）

【5・6年～】

- 「主体的に学習に取り組む態度」「問題解決能力」が身に付けられるように、自主学習（ページ制限なし）に取り組む。（5年時は授業からの発展的課題が中心、6年時は日常生活や社会事象からも問いをもつ。）
- 1日ノート1ページ以上の自主学習を課題として、保護者（教員）が定期的に（可能な限り短い間隔で）学習の調整の仕方について個に応じた助言をする。また、必要に応じて価値付け、称賛をする。（内発的動機付け > 外発的動機付け）